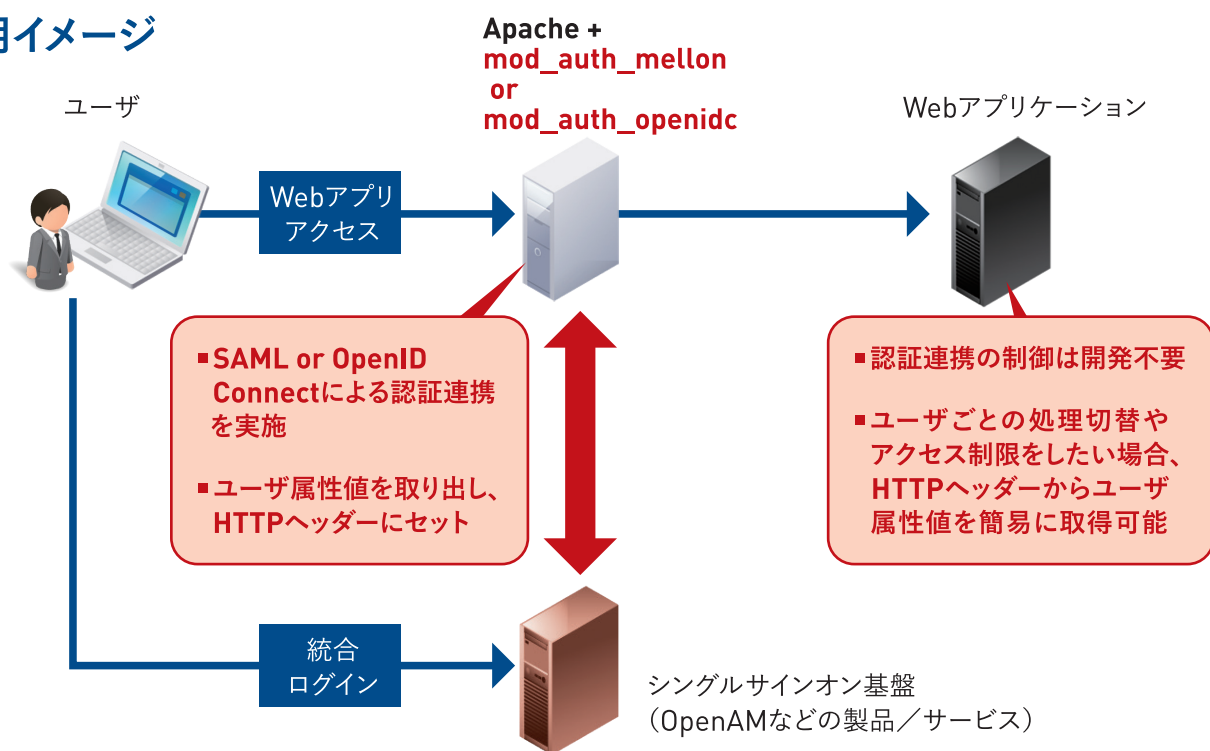


mod_auth_mellon mod_auth_openidc

シングルサインオン環境における認証連携の標準プロトコルとして、SAMLや OpenID Connectが広く使われるようになりました。ここでネックになるのが、Webアプリケーションを標準プロトコルに対応させるためのコストや時間です。mod_auth_mellonや mod_auth_openidcを利用すれば、そのようなコストや時間を削減できます。

利用イメージ



特徴

	1 対応工数	2 言語依存性	3 保守性	4 独自機能	5 サポート
OSSTech版 mod_auth_mellon mod_auth_openidc	小	無	パッケージ提供	有	強
他のライブラリ	大	有	ソースの場合有り	-	弱

1 標準プロトコルへの対応工数を低減

利用イメージのように、認証連携やユーザ属性値の取得を代行するため、Webアプリケーションでの処理を簡易化できます。

認証連携における標準プロトコルとして、mod_auth_mellonはSAMLに、mod_auth_openidcはOpenID Connectに対応します。

OSSTechで独自に用意した日本語ドキュメントにより、簡単な設定で実現できます。

2 Web アプリの言語に非依存

mod_auth_mellon、mod_auth_openidcのいずれも、Apacheのモジュールとして動作します。このため、表面の利用イメージのようにリバースプロキシの構成にすれば、Webアプリケーションのプログラミング言語や構成に依存することなく利用できます。

3 保守性の向上

OSSTech版では、独自にパッケージングを行います。セキュリティパッチの適用がパッケージのアップデートのみで済むなど、保守性が向上します。

4 独自に機能・性能を強化

OSSTech版のmod_auth_mellonでは、以下に例示するような機能強化や性能強化を独自に実施しています。

- ・現在のセッション数の取得
- ・追加認証要求の実現

5 スペシャリストによるサポート

OSSTechは、OSSベースの認証基盤ソフトウェアであるOpenAMを長年扱っております。認証基盤を知り尽くしているからこそ可能となる、正確かつ迅速なサポートをご提供します。

ソリューション

パッケージ提供

OSSTechで独自にパッケージング
複数サーバに適用可能なボリュームライセンス

導入支援

メールベースのコンサルティング
OSSTechエンジニアによる初期導入も可能

サポート

問い合わせ対応
アップデートパッケージ提供

※価格等の詳細につきましては、別途お問い合わせください。

動作環境

ハードウェア要件

メモリ(mod_auth_mellonの場合)4GB以上
(mod_auth_openidcの場合)1GB以上
HDD 20GB以上(OS領域含む)

対応OS

Red Hat Enterprise Linux 8 / 9 (x86-64)
AlmaLinux Rocky Linux 8 / 9 (x86-64)
Amazon Linux 2023 (x86-64)

ソフトウェア要件

Apache HTTP Server 2.4
(preforkのみサポート対象)
(OSが提供するバンドル版のApacheのみサポート対象)